

六角形 MVVを体現する！

管理本部の仕事 の全貌

会社全体が円滑に機能するための土台を整え、売上げが止まらない環境づくりを担うのが管理本部の使命です。今回は、見えないところで会社を前進させる管理本部の取り組みと、その裏にあるMVVへの熱い想いに迫ります。



管理本部の皆さん

今回お話を
伺いました！

役割と業務内容

管理本部

やまぐち ゆうたろう

山口 裕太郎さん

円滑に機能する 土台を整える使命

管理本部の主な役割は、会社全体が円滑に機能するための土台を整えることです。直接売上げを生み出す部門ではありませんが、売上げが止まらない環境を整えることが使命だと考えています。

最近では特に
「判断基準や業務ルールの明文化」に
力を入れています。

業務内容

総務部門関連 (勤怠管理、労務対応、社内ルール整備)

経理部門関連 (月次処理、支払管理、数値管理)

IS部門関連 (広告掲載管理、営業サポート業務)

業務フローの標準化

属人化の解消

部門内評価制度の設計

社内ナレッジの整備 など

特に意識しているMVV

「信頼を築く」

管理本部は、社員からも、他部門からも、経営からも信頼されなければ機能しません。ルールや制度は、信頼がなければ単なる「縛り」になります。会社の仕組みを整える部門だからこそ、信頼を土台にすることを意識しています。

MVV体現の具体的なエピソード

目的や意図を共有する

どのような取り組みであっても「なぜそれをやるのか」という意図を共有するようにしています。例えば、勤怠や業務ルールの整理を進める際は「取り締まるため」ではなく「迷わないようにするため」という前提を繰り返し説明しています。ルールや制度は、背景や目的が伝わらなければ単なる管理に見えてしまうためです。「理由を言語化して伝える」積み重ねが信頼構築につながると考えています。

高めていきたいMVV

「感動を造る」

一見、営業や現場に近い言葉に見えますが、管理本部にも必要な要素だと思っています。管理本部の仕事の多くは裏方です。しかし、裏方だからこそ「仕事がやりやすくなった」「迷わなくなった」「前よりスムーズになった」と感じてもらえる状態を作りたいと考えています。派手な感動ではありませんが「働きやすい」も、大切な感動だと思っています。

仕事のやりがいと難しさ

「縁の下の力持ち」として会社を前進させる

一番のやりがいは「見えないところで会社を前に進められる」ことだと思っています。営業の成果は数字で見えますが、管理本部の成果は「トラブルが起きない」「迷わない」「止まらない」という形で現れます。難しさは「成果が見えにくいこと」「変化に対する抵抗が起こりやすいこと」「誰かを否定せずに改善を進める必要があること」です。特に、長年続けてきたやり方がある中で、より良い仕組みに整えていくのは簡単ではありません。しかし、それを避けてしまうと会社は前に進めないとも感じています。

今後の目標

「属人化の解消」と「再現性のある組織づくり」

誰か一人に依存する状態ではなく、誰がやっても一定水準で回る仕組みを作る。判断基準を明確にする。業務フローを標準化する。成長が見える制度を整える。このような取り組みを通じて、会社全体の安定と成長に貢献していきたいと考えています。

他社での経験があるからこそわかる！

外から見た 信託ホーム の魅力

中途入社した社員の目に、当社はどのように映っているのでしょうか。社内で当たり前になっている光景も、外から来たメンバーには新鮮に感じられるかもしれません。今回は2名の方に、入社後に感じた率直な思いを伺いました！



不動産開発部

さとう しゅうすけ

佐藤 秀祐 さん

信託ホームの魅力

社員同士の距離が近く、相談しやすい風通しの良い環境が、当社の強みだと感じています。若手や中途入社でも意見を発信しやすく、挑戦を後押ししてくれる風土が魅力です。

入社後に感じたギャップ

正直、堅い雰囲気想像していました。しかし実際は風通しが良く、相談や意見交換がしやすい環境であることに、良い意味で驚いたことを覚えています。日々のコミュニケーションを通じて学ぶことも多く、中途採用者にとっても非常に働きやすい職場だと感じています。

入社して最もうれしかったこと

入社早々に怪我をしてしまい、業務に支障をきたしてしまっただけ、社員の皆さんが送り迎えやフォローをしてくださったことです。うれしさというより、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

入社後に感じたギャップ

入社前は、上司とは業務報告が中心の関係性になることを想像していました。しかし実際には、日常的にキャリアや業務改善について相談でき、対話の機会も豊富です。評価する立場でありながら、成長を支える伴走者として向き合ってくれる点は、良い意味でのギャップでした。

入社して最もうれしかったこと

入社後、初めて1人でリフォーム現場の管理を任せただけ、無事に完了できたことです。工程調整や職人さんとのやり取りなど苦勞も多々ありましたが、やり遂げたときは上司が「よくやった」と声をかけてくださいました。自分の努力が認められ、大きな達成感を得た出来事です。



工事管理部

おおや よういち

大屋 陽一 さん

信託ホームの魅力

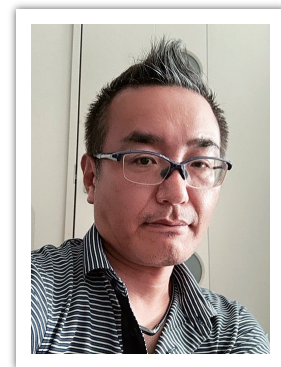
現状に満足せず、常に新しいことへ挑戦し続ける姿勢だと思います。環境の変化にも柔軟に対応しながら、前向きに取り組む文化。それが企業としての成長力や競争力につながっている点が、大きな魅力だと感じています。

社員の意外な一面を発見!

「わたしの自慢」 大公開

あさひ よし かつ

管理本部 課長 旭 義勝さん



社員の皆さんには、仕事以外にも驚くべき特技や熱中している趣味があります。今回は、圧倒的な体力で目標を達成した驚異の記録や、食への探究心から生まれたエピソードなど、個性豊かな「自慢」をお届けします。

自慢
エピソード

札幌を縦断! 1日5万歩の超人的ウォーキング

私の自慢は、1日で50,504歩を歩き抜いた驚異の移動距離です。距離にして約33km、フルマラソンに迫る道のりを歩破しました。当日は西岡の自宅から宮の沢の白い恋人パークまで、札幌市内を文字通り縦断。大好きなカレー店でのエネルギー補給を挟みつつ、10時間近く歩き続けました。この圧倒的なタフネスと、寄り道を楽しむ探究心こそが私の強みです。仕事でも一歩一歩、着実に目標へ邁進します!

おすすめポイント

車なら一瞬の景色も、歩けば街の小さな変化や隠れた名店に出会えるなど、「日常を冒険に変える力」になることです!



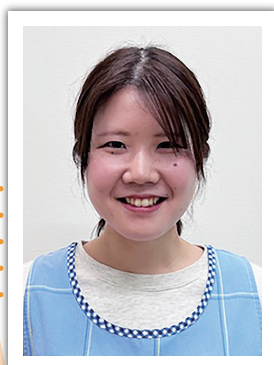
実際に歩いた日の記録

すぎもと なつき

ちびっこランド 1歳児室リーダー 杉本 奈月さん

自慢
エピソード

おいしいお店の開拓と、広がる交友関係!



おいしいものを食べること、飲むことが生きがいの私。暇さえあればいろいろなお店に足を運びます。1人でも行くほど飲食店が大好きです!お店で知り合った人と仲良くなり、友だちが増えていくのも醍醐味の一つです。一緒に旅行をするほど仲良くなったこともあります!



おすすめポイント

どんなに疲れていても、おいしいものを食べると一気にストレスを発散できることです!